

## 無病息災を願って 羽田地区で茅の輪くぐり



羽田神社の夏祭り、新調された茅の輪をくぐる羽田地区の皆さん。

羽田神社の夏祭り、恒例の年中行事「茅の輪くぐり」が行われました。

これは、地区の疫病除けを願って毎年行われてきたものです。昨年の秋に、茅の輪を新調しようと氏子の皆さんが分解したところ、約300年前の年号が記されているのが見つかり、この行事の歴史の古さに驚きました。

地区の皆さんは、自分たちの地域の歴史を再認識するとともに、「この伝統をしっかりと後世に繋いでいきたい。」と話していました。

## 谷貝小学校で 地区コミュニティスクール開催



上級生が下級生の面倒を見ながら、校庭にテントを張り、自分達で食事を作って生活しました。

谷貝小学校グラウンドで「サマーキャンプ」みんで泊まるう！」と題して、谷貝地区コミュニティスクールが開催されました。

これは、子ども達の「生きる力」を育むために、地域と学校が一体となって様々な体験の機会を提供することを目的に実施されたもので、今回で5回目。真夏の日差しの中、約1000人の子ども達が、6年生をリーダーに13の班に分かれ、保護者や高校生と一緒に、流しそうめんや、キャンプファイアーなどで楽しい時間を過ごしました。

## 東日本大学ソフトボール大会 が開催されました



連日白熱した試合が繰り広げられ、大學生らしい豪快なプレーが見られました。

桃山中学校・真壁運動場を会場に「第24回東日本大学ソフトボール選手権大会」が開催されました。

大会には、北は北海道、西は長野県から、男子30チーム・女子29チームが参加。2日間にわたって熱戦が繰り広げられました。最終日に予定されていた準決勝・決勝戦は、残念ながら雨天のため中止され、それぞれ4チームが優勝となりました。

試合を観戦していた人達からは、普段目にするのでできない大學生の豪快なプレーに、大きな歓声があがりました。

## 黒こだまスイカ “誘惑のひとみ”をPR



中田市長（写真左から2人目）と橋本茨城県知事（写真中央）を訪ね、黒こだまスイカをPRするJA北つくばこども西瓜部会の皆さん。

JA北つくばこども西瓜部会の生産者の皆さんが、橋本茨城県知事を訪問し、黒こだまスイカ販売促進PRを行いました。

このスイカは、3年前から試験栽培を始め、今年からこの誘惑のひとみ というブランド名で、本格的に販売を展開。表面が黒っぽい、糖度が13度前後と甘みが強い、身が詰まっているシャリシャリ感がある、といった特徴があります。

生産者の皆さんは、「より一層努力して、消費者の方々に美味しいスイカを提供したい。」と意欲を燃やしていました。

## 桜川市消防団から市スポーツ 芸術文化振興協会に寄付



皆川消防団長（写真左）が大和庁舎に来庁。中田市長（写真右）に寄付金が手渡されました。

桜川市消防団から、桜川市のスポーツ・芸術の発展とその人材の育成に役立てて欲しいと、桜川市スポーツ芸術文化振興協会に寄付がありました。

これは、市消防団チャリティーゴルフ大会開催時の募金から寄付されたものです。この「桜川市スポーツ芸術文化振興協会」は、スポーツおよび芸術文化の振興のために、団体・個人への助成や、優れた芸術文化鑑賞の機会提供などを行い、市内のスポーツ・芸術文化の分野における優れた人材育成を目的としています。

## 北学校給食センターで “きゅうしょくセンター調べ隊”



次々と出来上がっていく給食に、興味津々の参加した子ども達。

桜川市北学校給食センターで、「きゅうしょくセンター調べ隊」が実施されました。

これは、普段自分達が食べている給食が、どの様に作られているのか、親子が自分の目で確認するために実施されたもので、約70人の親子が参加。同センターの施設や調理の様子、衛生管理の状態などを見学し、調理終了後には、岩瀬小学校の教室を借り、親子一緒に出来たての給食を食べました。子ども達は、普段見たことのない大きな調理道具に驚きながら写真やメモをとっていました。

## 平成21年度桜川探検隊 第1回探検交流が開催



講師の方から、桜川の源流「鏡ヶ池」周辺の自然についての説明を受ける子ども達。

鏡ヶ池・磯部稲村神社・桜橋周辺を会場に「平成21年度 桜川探検隊 第1回探検交流」が行われました。

霞ヶ浦最大の流入河川桜川を探検し、自然・歴史・文化に親しみながら霞ヶ浦を大切にすることを培うことを目的に、桜川流域の土浦市・つくば市・筑西市・桜川市と、市民団体が実施。参加した約60人は、流域周辺の歴史や植物などについて説明を受けた後、桜橋上流で川遊びや、水質調査などをして自然に触れ合い、身近な川を守ることに大切さを感じていました。

## 上小幡営農組合が 「枝豆まつり」を開催



朝早くから枝豆とトウモロコシの収穫を楽しむ家族連れなどで賑わいました。

真壁町上小幡地区の畑で、夏の味覚枝豆とトウモロコシの収穫を楽しむ「枝豆まつり」が開催され、朝早くから家族連れなど約600人で賑わいました。

これは、上小幡営農組合（田口毅一代表）のみなさんが、遊休農地解消に向けて、組合員の畑約40㍏に枝豆とトウモロコシを栽培。その収穫を市民の皆さんに楽しんでもらおうと、地区の協力を得て開催されたもので、今年で3年目を迎えます。

当日は、地元産のきな粉や新鮮な野菜などの農産物も販売され、参加者を楽しませました。